

ファイル名 ※拡張子は「.java」である	Facility_History
対応するデータベーステーブル	Facility_History
所属パッケージ名	com. springproject. dockerspring. entity. HistoryEntity

特記事項

- コンストラクタやゲッターセッターを実装するライブラリとして、「lombok」を用いる。
- メンバ変数は、いずれもアクセス修飾子を「private」とする。
- 「lombok」で、「ゲッター」「セッター」「引数無しコンストラクタ」「全てのメンバ変数に対する引数ありコンストラクタ」を実現する。
- メンバ変数名とデータ型は、対応するテーブルの「**カラム名と同一**」にする事。
- コンストラクトの処理内容に関しては複雑な処理は行わない為、処理内容は文章での記述にとどめる。

実装インターフェース

EntitySetUp

実装メソッド

stringSetNull

makeMap

使用列挙型

Facility_Enum

DateFormat_Enum

HistoryKindEnum

対になっている通常データ用エンティティ

Facility

機能概要

- 主に[設備情報変更履歴]機能のデータの、データベース保存やデータのやり取りに使用するエンティティである。
- 使用法としては、対象テーブルへのデータの追加更新処理、エンティティ内のデータの加工、他の関連するフォームクラスや履歴用エンティティクラスからの変換を行う。
- なお、各メソッドのフローチャートに関しては、根本的な処理は他のエンティティと変わらないことから、インターフェースの設計書に統一するため、そちらを参照の事。

追加コンストラクタ

- 対になっている通常データ用のエンティティから、この履歴用エンティティにデータを移し替える。
- 移し替えた後、Null初期化を実行する。
- 移し替える際には、以下の情報を一緒に保存する。
「データベースに保存する履歴の種別」「変更操作を行ったユーザーの名称」「変更が行われた日時」

